

出展のご案内



フードメッセ in にいがた2023

2023年11月8日(水)~10日(金)

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」

同時開催

第10回 にいがた
6次化フェア2023

第8回 6次化大賞 (主催: 日本食糧新聞社)

「フードメッセinにいがた」開催15回記念

特別企画 にいがた
お米未来展2023

出展申込締切

8月31日(木)

主催: フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

主管: (株)日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会

フードメッセ

検索

<https://foodmesse.jp>



全国から新潟へ 新潟から全国へ 地域資源や先端情報が集う「食の国際

開催概要

- 名称 ● 第15回 食の国際総合見本市 フードメッセ in にいがた2023
同時開催 ● 第10回 にいがた6次化フェア2023
● 第8回 6次化大賞(主催:日本食糧新聞社)
● 特別企画 にいがたお米未来展2023
- 会期 ● 2023年11月8日(水)～11月10日(金)
10:00～17:00(最終日は16:00まで)
- 会場 ● 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」
- テーマ ● 『より良い食を求めて』
～伝統から最新トレンドまで、新たな価値創造を～
- 主催 ● フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市
主管 ● (株)日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・
食と花の世界フォーラム組織委員会
- 開催規模 ● 出展者数:430事業者・410小間
(予定) ● 来場者数:10,000名

フードメッセ in にいがた「6つの特徴」

1 新潟を基点としたビジネスチャンス拡大の場!

- 新潟市は日本海側唯一の政令指定都市。情報・物流のハブとして隣接エリアへの営業拠点の役割を果たしています。新潟に拠点を置く食品関連事業者が多数来場する「フードメッセ in にいがた」は、日本海側のマーケットを開拓する絶好の機会です。また、地方の商品に関心を持つ多くの食品系バイヤーが首都圏や隣接エリアからも多数来場するので、販路を全国に拡大するチャンスでもあります。

2 食品・食材から機器・容器まで、食に関連した独自商品や最新情報が出展!

- 「フードメッセ in にいがた」は、「食」に関連するあらゆる分野の先端情報が集まる総合見本市。地域資源の活用、サステナビリティ、フリーフロム、オーガニックなど新時代のテーマを反映した食品・食材や、省力化・効率化を実現する最新の機器・器具・資材を提案する場となっています。

▶ [詳細は2・5ページへ](#)

3 新潟県内をはじめ、全国各地から販路開拓を目指し、各種団体が共同出展!

- 「地域産品」の販路拡大支援として、地元の事業者を取りまとめて出展する自治体や商工団体などが増加傾向にあります。前回(2022年)は40団体・140事業者の出展となり、出展者全体の35%を占めるまでになりました。また、商工団体の単独出展から、広域にまたがる連携出展にまで発展しています。

▶ [詳細は3ページへ](#)

4 新潟を中心に全国から約1万人のバイヤーが来場予定!

- 食品バイヤーは、競合と異なる「個性的な品ぞろえ」を実現することに注力しています。「フードメッセ in にいがた」は、普段接する機会が少ない、地域ブランド・地域食材発掘の場として、多くの食品バイヤーから高い評価を得ています。また本展は、出展者にとって、新規取引先の開拓の場であると同時に、商品改良や新製品開発のヒントを得る貴重な場となっています。

▶ [詳細は6・7・8ページへ](#)

5 出展者同士のコラボによるビジネス化も盛ん!

- 来場バイヤーとの商談や情報交換はもちろん、「フードメッセ in にいがた」の他にはない特徴の一つとして、出展者同士の協業や、他業種(食品、機器、容器、情報など)との連携に発展し、思わぬ成果を上げていることです。

6 充実した出展者サポート!

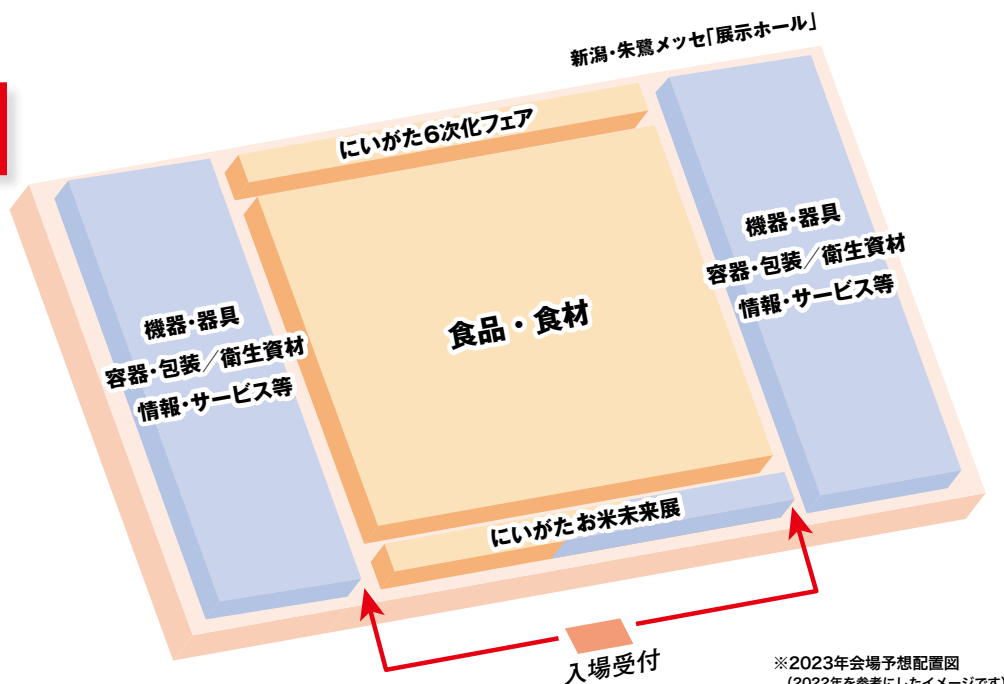
- 出展する食品事業者向けにバイヤーとの事前マッチング制「個別商談会」を会場内で実施しており、商談成果の向上に大きく寄与しています。また、展示会への出展経験が浅い出展者に成果を上げていただくため、「出展検討者向け説明会」や「出前セミナー」の開催など、出展を成功に導くサポートメニューが充実しています。

▶ [詳細は9・10ページへ](#)

総合見本市



※前回(2022年)開催時会場風景



※2023年会場予想配置図 (2022年を参考にしたイメージです)

フードメッセinにいがた「出展対象」

食品・食材

バイヤーは、地域性豊かな農畜水産物、加工食品から最新トレンド商品まで新たな出会いを求めています！

- 地域の風土や伝統を生かした農畜水産品
- 伝統製法や地域資源を活用した食品
- 最新技術による製造法で付加価値を加えた加工食品
- SDGsなどのトレンドに配慮したもの
- 健康・簡便・時短などのニーズに対応する製品 …など

自治体・商工団体・各種団体

地域ブランドの確立を目指し、効果的にアピール！

- 地域の特産品を加工した食品
- 地域の特産品・畜産品・水産品
- 地域の伝統を活かした食品
- 食器・厨房器具など地域の特産品・工芸品
- その他、「食」に関連する地域商材 …など

▶ [詳細は3ページへ](#)

各国大使館・海外企業・インポーター

新潟を拠点とする日本海側市場の開拓に最適、海外商品の浸透を図り、アピールする絶好の機会！

- 農林水産品
- 冷凍食品
- 菓子
- 調味料
- アルコール …など

機器・器具

作業の効率化、省人化、生産性向上や高まる設備更新・新設ニーズに応え、自社製品を提案！

- 自動化・省力化・AI化などを実現する食品製造機械
- 省エネ化・ICT・ロボット化などを実現する店舗用機器
- 省力化・省エネ化・ICTなどを実現する厨房機器
- 業務用に特化した各種調理器具…など

容器・包装/衛生資材

商品開発に欠かせない容器・包装とコロナ禍で注目の衛生資材をPRするチャンス！

- 環境対応、デザイン、機能などに特長があるパッケージ、ラッピング用品
- デザイン・機能・素材などに特長があるトレイ・パック
- 素材・機能・デザインなどに特長がある食器・カトラリー
- 効率化・省資源化などを実現するシール、ラベル
- 機能・効率などに特長がある消毒・除菌用品
- 機能・素材・デザインなどに特長があるマスク、手袋 …など

etc. 情報・サービス等

- 食品開発に関わる産学研究
- 食品産業をサポートする情報処理機器
- 店舗施工・インテリア
- コンサルタント
- 販促・ディスプレイ
- 出版 …など

同時開催展示会

第10回 にいがた6次化フェア2023

- 全国の6次産業化・農工商連携に取り組む食品事業者を対象にした日本で唯一の展示・商談会。▶ [詳細は4ページへ](#)

- 「フードメッセinにいがた」開催15回記念/コメの新潟から発信するイノ“米”ション

特別企画 にいがたお米未来展2023

▶ [詳細は4ページへ](#)

目指すは
地域ブランドの
確立!

自治体・商工団体・各種団体等の 出展者拡大中!

- 地方創生・地域活性化の核として「地域産品」にフォーカスし、地元の中小事業者をとりまとめて出展する自治体、商工団体などが増加中です。
- 隣接、近隣など複数の商工団体による合同出展も進んでいます。また、迫力のあるブース展開で訴求力を高め、活気をもち、来場バイヤーからも好評を得ています。
- 主催者が提供する「出展検討者向け説明会」や、「出前セミナー」、個別の「勉強会」をうまく活用することで、出展効果を高め、出展を成功に導くことができます。

※写真は前回(2022年)開催時の一部です。



● 阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会



● 上越エリア・商工会議所・商工会



● 六日町・塩沢商工会



● 長野県商工会連合会



● 甲府商工会議所



● 札幌食と観光国際実行委員会

これまでの主な出展団体

〈新潟県内〉

- 阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会
- Akihaもち麦プロジェクト
- 新井商工会議所
- 糸魚川商工会議所
- 浦川原商工会
- 小千谷商工会議所
- 加治川商工会
- 柏崎市東本町2丁目振興会
- 柏崎商工会議所
- 加茂商工会議所
- 機能性農産物活用促進協議会
- 清里商工会
- 黒埼商工会
- 頸北等商工業振興協議会
- 小須戸商工会
- 佐渡国仲地区商工会
- 佐渡地域振興局
- 佐渡連合商工会
- 佐和田商工会
- 三条商工会議所
- 塩沢商工会
- 塩沢信用組合
- 新発田市役所
- 新発田商工会議所
- 上越商工会議所
- 上越南商工会
- 上越南商工業振興協議会
- 食まちうおめまネットワーク推進協議会
- 聖籠町商工会
- 田上町商工会
- 燕商工会議所 HIENプロジェクト

- 十日町商工会議所
- 長岡市南部地区商工会
- 長岡商工会議所
- 新潟越後広域水産産業再生委員会
- 新潟県 阿賀町
- 新潟県中小企業団体中央会 ものづくり支援センター
- 新潟市秋葉区役所産業振興課 もち麦健康プロジェクト
- 新潟市北区特産物研究協議会
- 新潟市健幸づくり応援食品ネットワーク
- 新潟市江南区・クラフト納豆プロジェクト実行委員会
- 新潟市江南区食の特産品開発協議会
- (公財)新潟市産業振興財団
- 新潟市西蒲区産業観光課
- 新潟市西蒲区・にしかん園芸作物生産協議会
- 新潟市西蒲区・にしかん なないろ野菜
- 新潟市西区・いもジェンヌ農工商連携協議会
- 新潟市西区・くろさき茶豆農工商連携協議会
- 新潟市西区連合商工会
- 新潟市農業活性化研究センター
- 新潟市福祉部障がい福祉課
- 新潟市南区産業振興課
- 新潟商工会議所
- 新潟西商工会
- 西蒲区商工会連絡協議会
- 能生商工会
- 牧商工会
- 巻商工会「MAKIno」
- (一社)見附市観光物産協会
- 南魚沼市
- 南佐渡地区商工会
- 六日町商工会
- 村上市

- 村上商工会議所
- 村松商工会
- 安塚商工会
- 与板町商工会

〈北海道〉

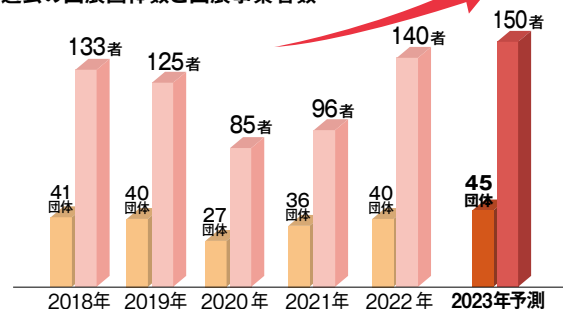
- (一財)小樽物産協会
 - 札幌食と観光国際実行委員会
- ### 〈山形県〉
- 飯豊町
 - (株)小国いきいき街づくり公社
 - 小国町地域総合商社
 - 山形県長井市
 - 山形県南陽市
- ### 〈福島県〉
- 福島市商工会広域連携協議会

〈群馬県〉

- みなかみ町商工会
- ### 〈栃木県〉
- 大田原市農産物ブランド化促進協議会
- ### 〈東京都〉
- 復興水産加工産業路回復促進センター
- ### 〈長野県〉
- 飯山商工会議所
 - 長野県商工会連合会
- ### 〈山梨県〉
- 甲府商工会議所
- ### 〈高知県〉
- 高知県
 - (一財)高知県地産外商公社

(50音順・敬称略)

◎過去の出展団体数と出展事業者数



第10回 にいがた6次化フェア2023

全国の6次化に取り組む事業者のための展示・商談会!!

- 6次産業化および農商工連携に取り組む事業者が出展対象となります。
- 1次産業は地域の資源と捉え、企業連携による商品開発、市場展開を目指す出展者が集う研鑽の場です。
- 小ロットでも個性ある商品、付加価値商品に関心の高いバイヤーとの商談が活発に行われます。



開催概要

- 名称 ● 第10回「にいがた6次化フェア2023」
 主催 ● フードメッセinにいがた運営会議・新潟市
 主管 ● (株)日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会
 出展規模 ● 25事業者(限定)
 会期 ● 2023年11月8日(水)~11月10日(金) 10:00~17:00(最終日は16:00まで)
 会場 ● 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」
 同時開催 ● 第15回「フードメッセinにいがた2023」
 ● 特別企画「にいがたお米未来展2023」

特徴

1 意欲ある6次化事業者を支援!

- 同時開催の「フードメッセinにいがた」に比べ、出展料が割安に設定(1小間=5万円)されており、安心してチャレンジできます。▶ [詳細は最終ページへ](#)

2 全国各地から、出展者が増加中!

- これまで23都道府県のべ147事業者が出展参加しており、出展後、市場開発、販路開拓につながった例も多数あります。

3 「6次化大賞」エントリーでさらなる飛躍!

- 「にいがた6次化フェア」出展者は「6次化大賞」に自動エントリー。優秀品は協賛企業との直接取引にも発展します。

第8回 6次化大賞

主催：(株)日本食糧新聞社
 協賛：(株)JALUX、(株)JR東日本商事、国分関信越(株)、片山商事(株)(予定)

- 6次化に取り組む事業者の優れた商品や取り組みを「6次産業化プランナー」等の有識者が専門的な視点で審査し、各賞を授与します。また、協賛企業が独自の視点で評価・選定した商品には、「協賛企業特別賞」が授与され、その企業での取り扱いにつながります。

- 日程 ● 11月8-9日/最終審査会
 11月9日/表彰式・受賞者プレゼンテーション
 エントリー対象 ● 第10回「にいがた6次化フェア2023」出展者、第15回「フードメッセinにいがた2023」に出展する6次化および農商工連携に取り組む事業者。
 審査方法 ● FCPシートによる一次審査を経て、試飲・試食を含めたプレゼンテーションによる最終審査を行います

「フードメッセinにいがた」開催15回記念

特別企画 にいがたお米未来展2023

~コメの新潟から発信するイノ“米”ション~

背景

- 日本人の1人あたりの米消費は、1962年のピーク時から半減しています。一方で「米粉」の需要増、健康志向に合致した「健康米」、即食・簡便に対応した「パックご飯」など多様な消費用途の拡大が進んでいます。また、「グルテンフリー」を切り口に海外市場への輸出も始まり、米消費の新たな可能性に期待が高まっています。この機をとらえ、「米どころ新潟」から全国、世界に向けて米の新たな可能性を発信して参ります!

新潟のポテンシャル

- 新潟県は、米の栽培面積、収穫量ともに全国1位であることはもとより、米粉用米生産量も全国No.1のシェア(約30%)を誇り、「米粉先進県」の役割を担っています。
- 若手農家(生産者)がグループとなって、農業技術の向上や販売チャネルの拡大に取り組み、注目を集めています。
- 新潟県は本来、米加工品(米菓、パックご飯)産業の一大集積地でもあり、米の付加価値づくりに絶えず挑戦をしています。

新潟で行われている米需要拡大に向けた様々な取り組みを通じて、お米の新たな市場の開発につなげます。

出展対象

米粉 ■ 加工品 (パン・洋菓子・麺・餃子や焼売の皮など) ■ 汎用米粉 ■ ミックス粉	健康米 ■ 玄米 ■ 発芽玄米 ■ 雑穀米 ■ 精麦 ■ 栄養強化米	加工米 ■ パックご飯 ■ 炊飯 ■ おかゆ ■ 冷凍米飯 ■ 非常食 (アルファ米・レトルト) ■ 包装もち ■ グラノーラ ■ 米菓 ■ こめ油 ■ 日本酒	栽培 ■ 独自栽培米 ■ 新品種米 ■ 多収種米 ■ 業務用米 ■ 酒米 ■ 加工原材料用米
流通 ■ 米卸 ■ 商社	工業用 ■ バイオマス ■ プラスチック ■ ライスレジン (パック・容器・スプーン など)	機械・機器 ■ 精米 ■ 製粉 ■ 分析 ■ 冷却	資材 ■ 包装機 ■ 米袋

来場対象者

- お米関連食品メーカー、その他製造・加工メーカー、小売・卸・商社(輸出含む)、外食、中食、給食、デザート・スイーツ・ベーカー関係者

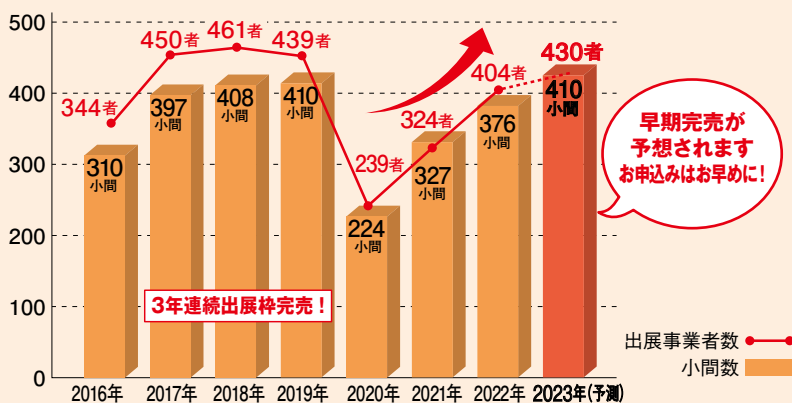
「フードメッセinにいがた」は 個性ある食品・食材や最新トレンドを提案する 差別化商材や最新の機器・容器を探すバイヤー

出 展 者

前は37都道府県から404事業者が出展！

1 出展者数・出展小間数の推移

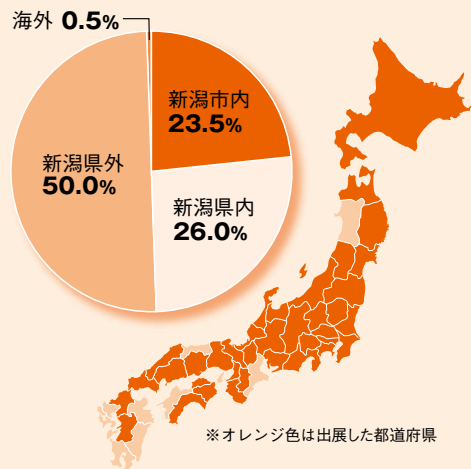
● 20年、21年のコロナ禍から脱し、出展者・小間数とも回復基調。今回(23年)は最大規模の410小間を確保。



(注) 20年、21年はコロナ感染予防の為、スペースを空けて小間配置を行った。

2 都道府県別出展者の内訳

● 新潟県内、県外の出展者の割合はおおよそ半々。県外からは隣接県や関東を中心に展。



〈主な出展者の声〉

東京だと会えない地場のバイヤーにお越しいただき、試食してもらいながら、商品説明できるのが良かった。(東京都・食品製造)

当社が課題としていた新規開拓、特にカフェやベーカリー、ホテルなどターゲットとなるお客様と出会えて良かった。(新潟県・食品製造)

通常だとアポが取りづらいバイヤーと直接商談できたので、リアル開催の良さを実感した。(新潟県・生産者)

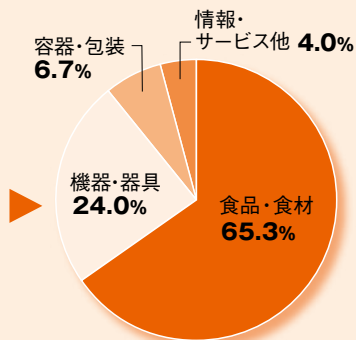
初めて地方の展示会に出展したが、地元の小売、量販店がしっかり来場しており、商談に繋がりそうです。(山梨県・食品製造)

今年度も様々な業種の方と交流があり有益だった。(東京都・食品機械)

3 出展者業種別内訳

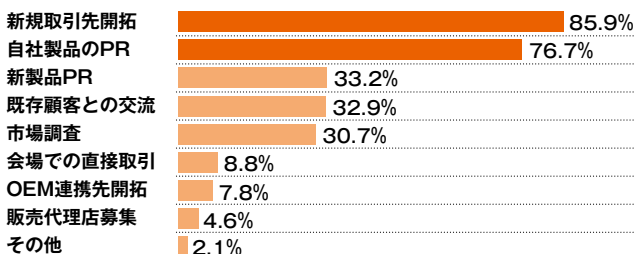
● 食品・食材の出展者が全体の3分の2近くを占めている。

カテゴリー別	出展者数
食品・食材	264
機器・器具	97
容器・包装	27
情報・サービス他	16
合計	404

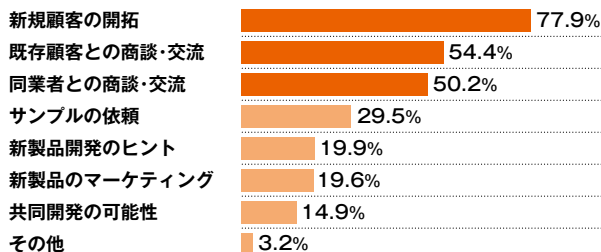


前回(2022年)の出展者アンケートより

出展の目的 どのような目的で出展しましたか？(複数回答可)



目的に対する成果 どのような成果がありましたか？(複数回答可)



サプライヤーと との出合いの場を提供!

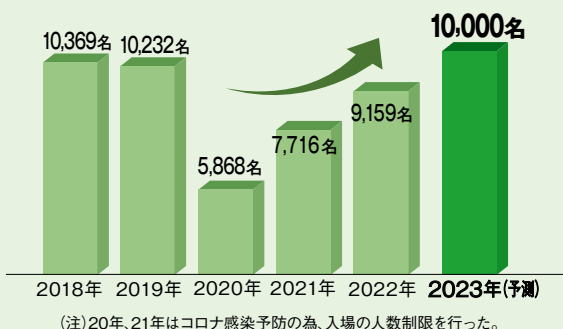
※下記のデータはすべて2022年実績

来場者

新潟県内はもとより、全国から新たな出合いや取引をを求めるバイヤーが多数来場!

1 来場者の推移

● 出展者同様、コロナ禍を脱し、今回(2023年)は最盛期の来場者1万人突破を見込む。



2 地域別来場者の内訳

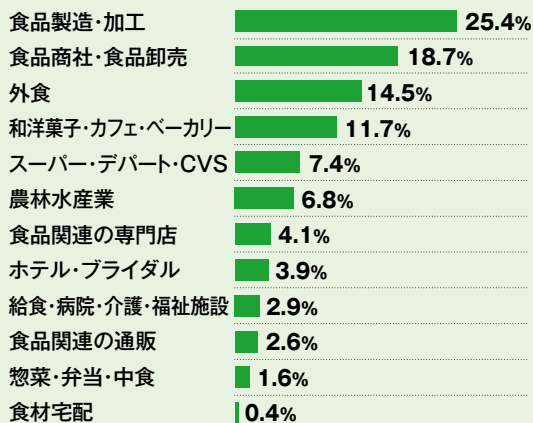
● 新潟県内を中心に隣接県や関東から多数来場。
(コロナ禍で新潟県外からの来場者が例年に比べ少なかった。)

新潟県	76.8%	—
北海道・東北	3.0%	北海道・宮城県・山形県・福島県
関東	11.8%	群馬県・栃木県・埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県
甲信越	3.5%	山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県
東海	1.4%	静岡県・岐阜県・愛知県・三重県
近畿	2.7%	奈良県・和歌山県・京都府・大阪府・兵庫県
中国・四国	0.5%	広島県・岡山県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県
九州	0.3%	福岡県・鹿児島県

※一部、本社住所で集計

3 来場者業種別内訳

● 「総合見本市」にふさわしく多様なジャンルから来場。



※機器・容器・その他を除く割合

〈主な来場者の声〉

新潟県内の商工団体だけでなく、北海道、長野、山梨、高知など団体の出展が増え購入の選択肢が広がった。(東京都・食品宅配)

来場者が一時の勢いを取り戻しつつあり、来年に繋がる展示会になった。(長野県・食品製造)

生産者様の声が直接聞けて良い機会となった。県外の面白い、珍しい商材が増えたが、もっとあって良いと思う。(新潟県・外食)

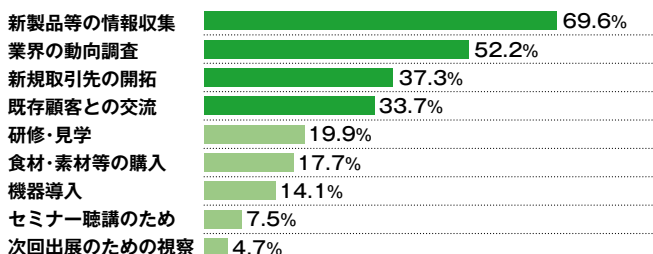
県外企業から地元企業まで、個々に工夫されていて見ごたえがあった。素材関係の出展をもっと増やしてほしい。(新潟県・食品製造)

新潟で開催される食品関連の専門展示会として、毎年貴重な機会になっている。(新潟県・和洋菓子・カフェ・ベーカリー)

前回(2022年)の来場者アンケートより

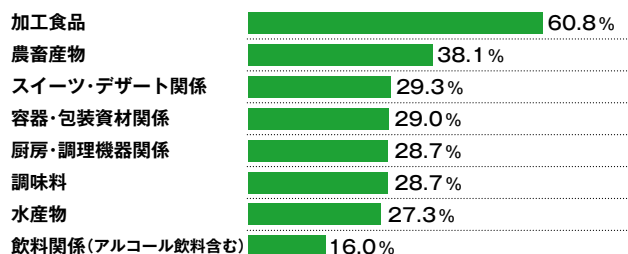
来場の目的

ご来場の主な目的は何でしょうか?(複数回答可)



増加を希望する出展品目

今後どのような出展品目の増加を望みますか?(複数回答可)



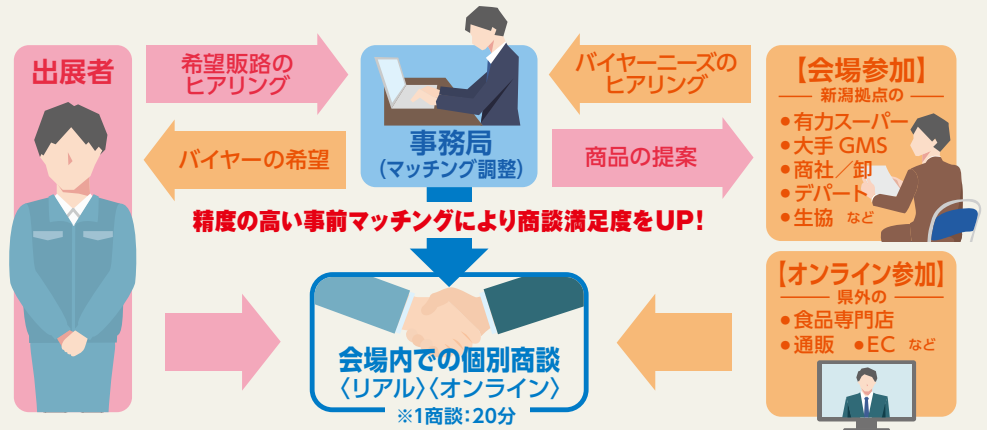
出展者への サポート1

食品事業者向け 「フードメッセ in にいがた」・「にいがた6次化フェア」・「にいがたお米未来展」 共通

リアル オンライン 個別商談会を開催！ 事前マッチング制

- 出展商品に興味を持ったバイヤーからの指名により、マッチングした上で、「個別商談会場」でゆっくりと商談ができ、成約率が高い。
- 新潟県や首都圏からの有カスーパーや大手商社などのバイヤーを会場に招致するほか、会場に来られないバイヤーはオンラインで参加します。

※オンライン環境は事務局が用意。必要に応じて出展者には事務局が商談をサポートします。



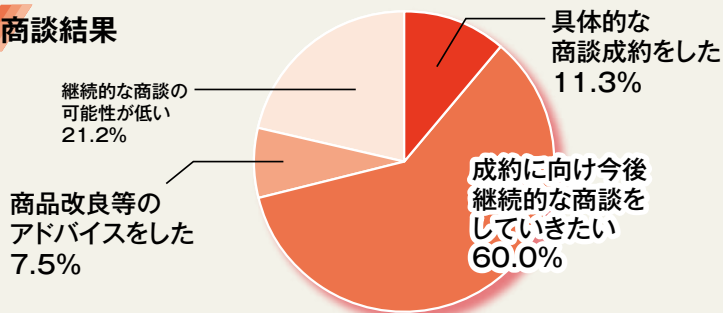
● 過去の主な参加バイヤー

- | | | | | |
|-----------------|-------------------------|----------------------|-------------------|-----------------------|
| ■ あおなみ食品 (株) | ■ カナカン (株) | ■ (株) JEM | ■ (株) 太子堂 | ■ (株) ポプラ |
| ■ (株) AMEKAZE | ■ (株) カン喜 | ■ (株) JP三越マーチャンダイジング | ■ (株) 大寿 | ■ 丸正製パン (株) |
| ■ (株) ARAN. | ■ 関東食糧 (株) | ■ 歯屋インターナショナル (株) | ■ (株) 大丸松坂屋百貨店 | ■ ヤマトホームコンビニエンス (株) |
| ■ イオンリテール (株) | ■ (株) キュービット | ■ (株) 治元 | ■ (株) ダイヤモンドダイニング | ■ ヨシケイ・ナラ |
| ■ 一神商事 (株) | ■ (株) 清野屋 | ■ (株) JALUX | ■ (株) タケイ | ■ (株) 良品計画 |
| ■ 一家グループ | ■ (株) GLUG | ■ (株) セイノー商事 | ■ (一社) 地域資源活用会の | ■ (株) レインズインターナショナル |
| ■ (株) エイト | ■ (株) ぐるなび | ■ (有) セレンディブ | ■ 調布のやさい畑 | ■ (有) レインボートレーディング |
| ■ (株) Elevation | ■ グルマン・ゴーズ・トゥ・トウキョウ (株) | ■ (株) 然 | ■ (株) ハークスレイ | ■ ロイヤル空港高速フードサービス (株) |
| ■ (株) オージーフーズ | ■ 国分関信越 (株) | ■ (株) 善丸コーポレーション | ■ (株) ビースブラン | |
| ■ 岡島百貨店 | ■ 国分フードクリエイティブ (株) | ■ 想樹 | ■ 福島屋 | |
| ■ (株) おさきん | ■ (株) JR東日本商事 | ■ Solveline (ソルブライン) | ■ (株) Bridge | (社名・50音順) |

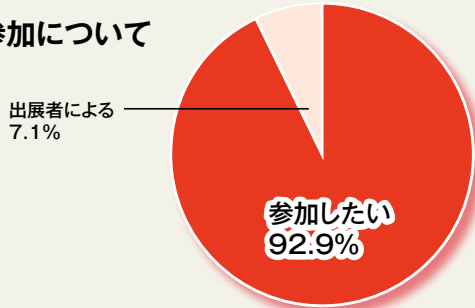


前回・個別商談会参加バイヤーの反応

商談結果



次回参加について



参加バイヤーの声

直接生産者の声を聞け商談する機会が持てて良かった。(食品関連専門店)

東京にはなかなか商談に来てくれなような事業者さんと会うことができ有意義な時間となりました。(食品商社・食品卸売)

対面の商談は、今後の流れとニーズをヒアリングしつつ提案が行えたので、とても良い商談が出来ました。(通販)

思っていたよりも商談の幅が広がり良かった。(スーパー)

参加出展者の声

これまで接点のなかった業態の方からオファーをいただき、思いもよらない販路の開拓となった。

お互いが事前に情報を調べていたので対面商談がスムーズに進んだ。

対面での商談がキッカケとなって、その後の取引に無理なく進めそう。

当社商品に適確なアドバイスをもらい、売れる商品に変えるチャンスももらった。

出展者への サポート2

団体出展者様へのご提案「フードメッセinにいがた」 スキルアップに必須の **出前セミナー**

事前準備で
チャンスの
扉を開く!

●出展する事業者の商談力を高め、展示会への出展を実践の場として有効活用するために欠かせない事前準備。「フードメッセinにいがた」では、地域の課題やご要望に添った「出前セミナー」をご提供しています。出展成果に結び付き、準備→実践→フォローアップのサイクルづくりをお手伝いします!

※講座内容、金額などご相談に応じて組み立てが可能です。
詳しくは事務局までご連絡ください。



講座内容 (一例)

食品市場トレンド

- SDGsの浸透、アフターコロナを背景に変わる消費者価値観を先取り。

商談力UP

- 商談は会話。魅力的なFCPシート作成のための必須要素の習得。

地域ブランディング

- 表面的ではない、ブランディングの本質を過去の事例から学ぶ。

展示会出展準備講座

- 出展計画・予算立て・展示会後のフォローまで、成功への実務。



出展者への サポート3

出展の成果を最大化する 出展者向けサービス

出展者が取引先に来場をご案内・勧誘するためのツールを**無料**で提供します!

1 招待状 (来場のご案内)

取引先とのアポイントにお使いください。
1小間につき100枚配布します。
※「にいがた6次化フェア」出展者は50枚

追加の「招待状」(来場のご案内)も無料でご提供!

2 ポスター

自社広報や取引先へのPRなどにご活用いただけるポスターを配布します。
(1社につき2枚)



3 公式Webサイト・公式マップでの情報公開

出展に関する自社情報を掲載

公式Webサイト等で出展者基本情報・出展商品詳細情報を来場バイヤー向けに公開します。出展品目などを事前にご覧いただく事でより効率的な商談に繋がります。

その他**有料**サービス

- 公式Webサイトバナー広告
- 会場マップ広告 他

来場されるバイヤーや業界関係者へPRできるツールをご用意しています。

4 出展者説明会

出展効果を高めるセミナーつき!

出展に際して重要な準備事項、スケジュール、各種規定、招待状等のツール活用など、展示会を成功に導くためポイントをご案内する説明会を開催します。会場参加・オンライン参加のどちらかを選択できます。

5 登録制メルマガで最新情報を発信

約90,000人に送付!! (2022年実績)

フードメッセの過去来場者および3大都市で開催する食の展示会「FABEX」の来場者向けメールマガジンを定期的に発信します。出展者情報やイベント・セミナー企画などを紹介します。自社ブースPRのためのテキスト広告の掲載(有料)も可能です。

■ 食品業界トップ紙「日本食糧新聞」による強力なバイヤー誘客プロモーションを実施!

主管企業である日本食糧新聞社が発行する食品業界専門紙「日本食糧新聞」の紙面や電子版を駆使して開催を告知します。感度の高い食品バイヤーに出展事業者の情報を事前・会期中・事後を通じて発信して行きます。



開催までのスケジュール

出展申込期間

1 出展検討 / 申込み

出展をご検討の場合

「検討資料請求/アンケートFAX連絡票」にご記入の上、メールまたは、FAXで運営事務局までお問い合わせください。

出展検討者向け説明会(セミナー付き)

時間: 13:00受付、13:30開会
会場: 「朱鷺メッセ」新潟コンベンションセンター
小会議室 303・304
※オンラインでの配信も行います

- 「フードメッセinにいがた」の特徴
 - 出展のメリットと効果
 - 出展要項、出展方法
 - 出展者サービス など
 - 出展成功への準備(セミナー)
- ※詳細問合せ、参加申込みは運営事務局まで

参加費無料

6月22日

出展を決定された場合

別紙「出展規約」をご確認の上、「出展申込書」にご記入・捺印の後、運営事務局までメールまたはFAXでお申込みください。

8月31日 出展申込締切

※出展予定枠数に達した時点で期日でも出展申込みを締め切らせていただきます。お早めにお申込みください。

9月15日

2 出展者説明会への参加

時間: 13:00受付、13:30開会 ※オンラインでの会場: 万代島ビル6F会議室 配信も行います

出展準備期間

出展小間位置の発表、出展要項・申請に関する重要ポイントの説明、展示会の活用セミナーがあります。出展者はかならず1名以上の担当者が会場またはオンラインで参加するようスケジュールの調整をお願いします。

9月中旬 出展者へ「ご招待状」(来場のご案内)の送付

3 「ご招待状」(来場のご案内)を取引先へ配布、来場依頼

4 各種申請書類の作成・提出

10月6日 各種申請書類 提出期限

5 11月7日 搬入・設営

11月8日~10日 会期
フードメッセinにいがた2023
にいがた6次化フェア2023
にいがたお米開発展2023

6 11月10日 撤去・搬出

※1~6は出展者様の作業を示しています。

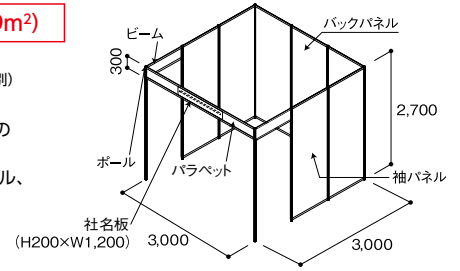
料金体系

一般ブース

1小間=3m×3m(9m²)

120,000円(税別)
(税込価格:132,000円)

- 小間料金に含まれるもの(1小間あたり)
- ①バックパネル、袖パネル、パラペット
- ②社名板(1枚)

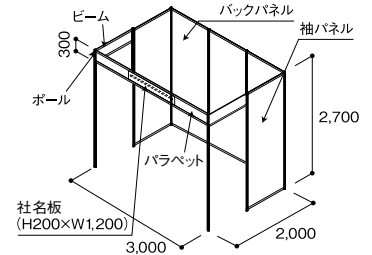


食品・食材専用ブース

1小間=3m×2m(6m²)

90,000円(税別)
(税込価格:99,000円)

- 小間料金に含まれるもの(1小間あたり)
- ①バックパネル、袖パネル、パラペット
- ②社名板(1枚)

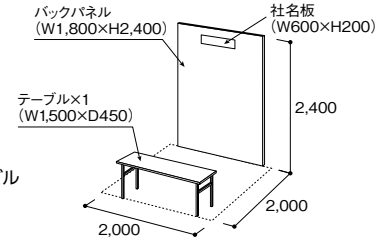


6次化フェア専用ブース

1小間=2m×2m(4m²)

50,000円(税別)
(税込価格:55,000円)

- 小間料金に含まれるもの(1小間あたり)
- ①バックパネル ②展示用テーブル
- ③社名板(1枚)

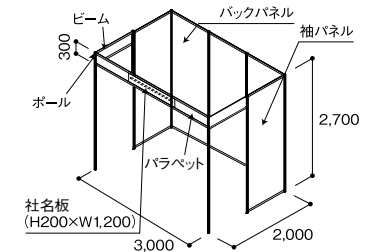


お米未来展専用ブース

1小間=3m×2m(6m²)

90,000円(税別)
(税込価格:99,000円)

- 小間料金に含まれるもの(1小間あたり)
- ①バックパネル、袖パネル、パラペット
- ②社名板(1枚)



- 上記に含まれないものはレンタル備品リストからお申込(有料)いただけます。
- 独自のブース装飾も承ります。事務局にお問い合わせください。
- 商工団体・各種団体の一般ブースの使用も可能です。別途ご相談ください。
- 3小間以下の場合、シングル小間(直列)となります。

- レンタル備品例
- 長テーブル 1,000円(税別)(税込価格:1,100円)(1本)
 - パイプイス 500円(税別)(税込価格:550円)(1脚)
 - 蛍光灯(40W) 3,500円(税別)(税込価格:3,850円)(1個)
 - 電気使用料8,800円(税込) /1KWあたり

※価格は今後改定される可能性もあります。確定した金額は9月15日(金)の「出展者説明会」で配布する「出展要項」等に掲載します。

1小間出展限定オプション 2面開放ブース(角小間)指定

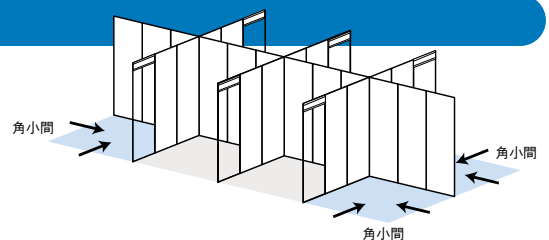
角小間指定料金: 20,000円(税別)(税込価格:22,000円) ※数量限定

●対象/【一般ブース】【食品・食材専用ブース】【お米未来展専用ブース】における1小間出展の事業者様

- 本指定枠をお申し込みいただきますと、2面開放ブース(角小間)をご用意いたします。
- 数に限りがありますのでご希望に沿えない場合もございます。予めご了承ください。

※ブース位置は出展規定に基づき主催者が決定いたします。

※指定枠決定の場合、料金は展示会会期終了後に工事費等の諸費用と合わせて一括でご請求いたします。



フードメッセinにいがた
運営事務局(株)日本食糧新聞社内

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6F 日本食糧新聞社 ビジネスサポート本部
TEL.03-3537-1077(お問い合わせ受付時間 平日9:30~17:30) FAX.03-3537-1088
E-mail contact@foodmesse.jp https://foodmesse.jp